

様式例（法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」）

2025 年度事業報告書

2025 年 1 月 1 日から、2025 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人和道

1 事業の成果

本年度は、法務・税務・財務等の各専門家による情報提供・相談受付に関する事業である「思いやりねっと事業」の継続を行ないました。

本事業（高齢者を対象にした身元保証サービスなど）は、単身高齢者の増加に伴ない、需要も増加し、事業者間のトラブルも増加してきました。当法人は利用者であるお年寄りや障害のある方々が理解しやすくする為、各種資料の整備及びホームページの更新いたしました。

「あいこねくと基金」を活用したファミリーホーム等にいる子どもたちへ「バースディケーキの贈呈」併せて、こども食堂には「クリスマスプレゼントの贈呈」を行ないました。



2025 年 12 月 24 日 18 時 30 分ごろ 教会こども食堂（松山市祇川 2 丁目 1-5）にて
約 50 人の子供たちにお菓子を配布

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
法務・税務・ 財務等の各専 門家による情 報提供・相談 受付に関する 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・身元保証の受任 ・日常的な金銭管理（財産管 理）の代理 ・緊急時の対応、計報時の対 応及び死後事務の執行受 任 ・医療判断代理人の受任 ・日常生活等の支援 ・賛助会員向けの支援制度 	通年	四国4 県	10名	高齢者及び障害 者 約42名	2,363
その他この法 人の目的を達 成ために必要 な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困・虐待・育児放棄に苦 しみ子供たちへの支援活 動及び基金の運営管理 	通年	愛媛県	2名	ファミリーホー ムに入所する子 供、子ども食堂 に通う子供 約 100人	